

事業計画書

事業名	ボタニカ・RYU ギャラリー・EN 静岡県内 3 ギャラリー合同企画展
実施場所	DHARMA 沼津
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019 年 4 月 1 日 ~ 2019 年 12 月 31 日

◎事業概要

※事業の概要を 100~200 字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

静岡のボタニカと富士宮の RYU ギャラリーと DHARMA 沼津の 3 ギャラリーによる富士山をテーマにした巡回企画展示。

タイトル「EN x Ryu x Botanica そこに在る富士山」

参加アーティストは各ギャラリーで 10 名を選出、合わせて 30 名の予定。

5 月を皮切りに 3 会場で巡回展示をしていきます。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

DHARMA 沼津の水回りや電気設備などハード面の改修後、来場者を増やし更なる地域活性化につながる賑わいをつくるために、静岡の金座ボタニカと富士宮の RYU ギャラリーと DHARMA 沼津の 3 ギャラリーで巡回企画展示を行い、静岡県内の造形作家同士の交流を深めることで、DHARMA 沼津の存在感を高め、美術に関心がある人達の間での認知度を上げる。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
2018 年 6 月 10 日	代表打ち合わせ
2018 年 9 月 15 日	代表打ち合わせ
2019 年 2 月	作品募集開始
2019 年 5 月	富士宮市 Ryu ギャラリー
2019 年 6 月 22 日～	静岡市葵区 金座ボタニカ
2019 年 9 月 23 日～	沼津市 DHARMA 沼津
	EN x Ryu x Botanica そこに在る富士山 私たちの日常のなかの富士山、「そこに在る富士山」がテーマです。 観光アイドルではない、国体の象徴でもない。富士山と共に生きている、自分を映し出す鏡のような存在…富士即私の想い。 富士山を眺めて暮らしている、富士の国の住人だからこそその DNA を作品に表現する。

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

静岡県内の造形作家同士の交流を深めることで、DHARMA 沼津の存在感を高め、まずは美術に関心がある人達の間での認知度を上げる。その先は継続して展示やワークショップ等を続けていくことで、より魅力的なスペースとなり、人が人を呼ぶ地域活性化を図れる施設とする。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	2018年の施設使用回数1回、来場者数500人→2019年の施設使用回数6回、来場者数2000人		使用回数をカウント。また来場者数を芳名帳でカウントする。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>沼津には沼津西高をはじめ、誠恵高校、中央高校など美術を専攻する高校があるが、卒業後は東京や名古屋、大阪などの大学に進学してしまい、その後沼津に戻って来ないことが多いが、沼津にもユニークで魅力的な人たちがいて、沼津に戻っても活動出来る場所があることを認識してもらう。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津をはじめとした静岡県東部には、美術大学出身で専門知識と技術を持った人が実は数多くいる。その貴重な人材を束ね、静岡県の3つの地域のギャラリーで、静岡の象徴である「富士山」をテーマとした展示を沼津で開催。県外の観客にも地域の魅力を分かりやすい巡回展とする。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>ENとして2016年から活動してきたことが、徐々にではあるが周辺の美術関係者に理解されたため、今回沼津を束ねるギャラリーとして、ポタニカとRYUギャラリーに声を掛けてもらい巡回展実施の運びとなった。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>この県内3ギャラリー合同企画展にとどまらず、年間計画に沿って、次々と企画展示やワークショップ等を開催し、多くの人々が訪れるような事業を継続的に行っていく。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>毎月定例会を行い、企画の内容を検討・確認しPDCAを回しながら進めている。2月より各ギャラリーの参加アーティストに対して作品募集の案内を配布し、5月からの富士宮での展示に備える。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>18年11月18日～12月16日の1カ月間の展示を行うために、9月から約2カ月掛けて、メンバー自身が掃除、ゴミ処理、片づけ、ペンキ塗り、照明の補修、壁面づくりなど、自分たちで出来ることは行い展示会場として利用出来るようにした。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

DHARMA 沼津を美術の拠点として使用していくために、まずは静岡県内の美術に関心がある人達の間での認知度を上げることを2019年度の活動目標とする。2020年以降は東京など、県外のギャラリーとも提携しアーティストが滞在し作品制作することも視野に入れて活動している。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

これまで沼津アーケード名店街の電気堂倉庫をセルフリノベーションして、ギャラリーに改装し、作品展示やダンスパフォーマンス、トークセッション、ワークショップなどを開催してきた。今後もこの3ギャラリー合同企画展などの作品展示の他、幼稚園生とのコラボレーション企画「みんなで花を咲かせましょ」や「おやこんぼフェスタ」での幼児教育への関わり、デッサン・クロッキー教室、ジオ×アートでの沼津の魅力再発見などを開催していく予定。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。